

施策	24	家庭教育の充実	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり		
施策主管課	公民館	課長名	木下 巨一	内線	4210	政策担当部長名	教育次長 澤柳 陽一
施策関係課名	生涯学習・スポーツ課/中央図書館/学校教育課/福祉課/子育て支援課/保健課						
重点施策	○	関連計画	飯田市教育振興基本計画、地育力向上連携システム推進計画				

1 施策の目的

目的	対象	子ども及びその家庭
	意図	①基本的なしつけができる ②公共心、社会性が育つ ③親子のコミュニケーションが図られる

2 現状把握

(1) 対象指標、成果指標の状況

対象指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	見込み 28年度
①	子育てをしている家庭 (0歳～18歳までの子どもがいる世帯とする)	戸	10,576	10,467	10,294	10,399		9,900
成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	目標 28年度
※成果指標の設定の考え方は別ワークシートにて整理								
①	基本的な生活習慣を習得している子どもの割合	%	1,191/ 2,456 48.5	1,294/ 2,446 52.9	1,287/ 2,424 53.1	1,388/ 2,451 56.6		55
②	地域行事・地域活動に親子で参加している割合	%	309/651 47.5	309/669 46.2	323/ 667 48.4	355/ 643 55.2		50
③	子どもとコミュニケーションがとれている世帯の割合	%	192/200 96.0	212/221 95.9	256/ 269 95.2	215/ 223 96.4		95

(2) 成果向上に向けての役割分担

主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	23年度 実績	24年度	25年度	目標 28年度
行政	市(国・県)	①子どもに基本的な生活習慣を習得させるための親の家庭教育の支援 ②子どもの社会性獲得のための青少年健全育成事業の推進	①家庭教育に関する学級講座開催回数(公民館の家庭教育の講座、図書館の乳幼児読み聞かせ)	① 280	263		300
			②健全育成事業の開催回数(生涯学習・スポーツ課の主催事業)	② 26	20		25
主体		役割分担	ムトス指標と把握方法と単位	役割発揮の特記事項			
市民等	親	①子どもに基本的な生活習慣を身につけさせる。 ②親子のコミュニケーションを図る。	①基本的な生活習慣を習得している子どもの割合(学校を通じた生活アンケートで把握) ②親子のコミュニケーションがとれている世帯の割合(意識調査設問26のデータで代替把握(団欒の認識が大事))	・我が家の結いタイムの取り組みを推進する協議会に、新たに幼・保育園の関係者を加えて取り組みの広がりを図った。			
	個人、各種団体	地域で子育てを支える。	意識調査設問19 子育て・PTA・青少年育成活動に参加している市民の割合				

3. 平成24年度の評価結果

(1) 実施した事務事業の評価(取組みの状況評価)

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 計画どおり取り組めた |
| <input checked="" type="checkbox"/> おおむね計画どおり |
| <input type="checkbox"/> あまり取り組めなかった |
| <input type="checkbox"/> 達成できなかった |

(2) 施策全体の評価(外部要因も含めた総合的な評価)

- | |
|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 進んだ |
| <input type="checkbox"/> ある程度進んだ |
| <input type="checkbox"/> あまり進まなかった |
| <input type="checkbox"/> 進まなかった |

4 平成24年度の取組概要と評価(成果や課題、その要因)

【施策全体の評価】

子どもたちにとって暮らしの一番の土台である家庭教育の充実を支えるための施策として社会教育機関を中心に啓発や学習の取組を進めてきた。成果指標である①基本的な生活習慣、②親子での地域行事への参加ともに過去4年の中で最も高率であるが、これは我が家の結いタイム推進の取組、図書館のはじめまして絵本の取組、地区公民館での家庭教育推進に関わる学習活動などの積み重ねの成果が反映されているととらえることができる。

地域行事の参加については、全国学テに併せて行われる調査の中で「地域行事に参加している」生徒の割合が小学6年生で87.9%、中学3年生で55%と、全国調査の数値63.2%(小学6年生)、37.7%(中学3年生)と比べて高率であり、飯田市においては、地域で子どもを育てる環境が大変豊かであることがその背景にあると推測している。

【事務事業群テーマ別の評価】

<親の意識づくり>

・生涯学習・スポーツ課では、家庭教育啓発推進事業として、我が家の結いタイムの取組では、7,11,2月に推進月間を設け、街頭啓発などを行うほか、啓発ポスターの公募(応募79点)、3行詩の公募(応募2232点)を実施したほか、家庭教育推進事業として、子育てパワーアップ講座、6回実施し、延べ1000人が参加した。

・公民館では、家庭教育推進事業として小学生に対するアンケートを行い基本的な習慣の習得の状況について調査したほか、子育てネットワーク「トライアングル」と連携し、子育て情報誌「おひさま」の発行や子育てサークルリーダー交流会、妊婦さん向け講座などを実施した。

・図書館では、はじめまして絵本事業に取り組み、7ヶ月検診時に894人に絵本をプレゼントするとともに、2歳児検診や乳幼児学級の際にフォローアップとし、絵本の読み聞かせの大切さについての啓発を1,260人の対象者に対して実施した。

<青少年の健全育成>

・生涯学習・スポーツ課では、青少年育成センター運営事業として、青少年育成推進委員に委嘱した9名により、年間5回の巡回活動を実施した。

<地域活動の展開>

・生涯学習・スポーツ課では、青少年健全育成事業として、伊勢市との交流を行い、飯田市からは7校28人の生徒が参加し、伊勢市からは12校36人の生徒が参加した。飯田子ども祭りを実行委員会方式で4月に実施し、800人が参加した。

5 上記を踏まえて、今後は、どのような対策を実施していきますか

・はじめまして絵本の取組では、利用者に対するアンケートを実施し、成果の確認や今後の取組の進め方の改善に反映させる。
・生涯学習・スポーツ課が主催しているみんなで子育てパワーアップ講座については、社会教育機関である公民館等に主管を移すなど、組織を含めた役割分担の見直しを行う。